

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2022年1月18日発行 (No.17) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

第6波コロナ感染爆発！ 今、福祉の現場で何が起きているのか！

●第6波コロナ感染爆発！今、福祉の現場で何が起きているのか！状況をお知らせください！

書き込みフォーム

<https://forms.gle/MrdLH9bB1RHiAHUR9>

フォームでは、2点聞いています。



- ①コロナ感染拡大で、現在、直面している状況・課題・問題点など。
- ②上記の問題を是正するために必要と思われる国や自治体への要望。

情報提供いただきました！！

ウイルス感染の専門家(=愛知県立大学の清水教授)は、保育園の感染予防は今のままで十分。日頃から清潔な保育環境を保つように努力されている。消毒は、ほとんど不要で、おもちゃなどの消毒も水洗いでよい。ウイルスはノロウイルスは別ですが、水洗いで十分。と言っておられます。

大事なものは、換気とマスクと提唱されておられます。(広島 保育)

①保育児、幼稚園児、小学校生徒などがいる職員(母親)が仕事に出られなくなるのが、一番怖いのですが、今回濃厚接触者でないということが多く、保育園や幼稚園もすぐに再開できているので、今のところ大変というほどではありません。すぐに大変になるかもしれませんが。

あまりの陽性者の急増で、行事の変更や広範囲の会議の中止などの対処を急がねばならなくて大変でした。(生活発表会の延期、または今後の流行によっては中止)

保育は、感染予防のため、クラス合同の時間をできるだけなくすために朝・夕の時間も分けて保育しており人手が多く必要です。毎月の誕生会はクラスごとでやっていて、さみしいです。4月からの保育のために、1歳児の2クラス合同保育や、第2保育園との合同保育を行いたいのにも、今はできず、困っています。

②一刻も早く大流行を抑えてほしいです。早くいつもの保育に戻したいです。

濃厚接触者がエッセンシャルワーカーのこどもの時は10日間ですよね。あきらめるしかないですか。

このままいけば必要でも病院に入れない人が出てきそうです。絶対にそのようにならないようにしてほしいです。薬も早く使えるようにしてほしいです。保育園で働く職員のワクチン接種を速めてほしいです。

①県内は警戒レベル2。原則入院をやめ宿泊や自宅での療養方針に切り替えているが、確保病床の5割近くまで上がっている。医療機関や高齢者施設等でクラスターが同時多発的に発生すると、即医療崩壊を招くことが懸念される。これだけ感染が拡大すると、入所者の即時入院やクラスター対策班の介入が期待できない。

②園内で陽性者が出た時は、職員全員のPCR検査をしてほしいです。(島根 高齢)

①今のところ大きな影響はありませんが、職員にコロナの陽性者や濃厚接触者が出た場合の保育体制を、どのように維持していくのかは困難さがあると思っています。また、保育施設もできるだけ密を避け換気を行っていますが、建物の構造や面積基準等から限界があります。

②・エッセンシャルワーカーが濃厚接触者になった場合の自宅待機期間を、科学的な根拠をもとに見直す(期間短縮)。

(大阪 保育)

①職員の家族が感染し職員は濃厚接触で10日間の様子観察になりました。職員の家族は無症状で居住環境もよいということで自宅療養(隔離)になっています。保健所からは、その場合、陽性者の自宅療養(隔離)の10日間が終わってから、家族は、さらに10日間の様子観察が必要とのこと。家族に感染があり自宅療養になると最低でも20日間出勤ができない状態になります。

②施設等に勤める職員の家族が感染した場合、優先的にホテル療養等ができる環境を作ること。(埼玉 障害)

お寄せいただいた声を
ご紹介いたします！